

昭和52年8月調査
世論調査報告書

国語に関する世論調査

昭和52年12月

内閣総理大臣官房広報室

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	2
	1. 文字に対する関心	2
	2. 当用漢字及び人名漢字	8
	3. 新漢字表試案の字種	16
	4. ことばづかい	20
III	集計表	27
IV	調査票と回答票	149
V	標本抽出方法	165

この部分
を
抜粋



〔本報告書を読むさいの注意〕

1. Nは比率算出の基数であり (Number of Case の略)、100%が何人の回答に相当するかを示す。特に示していない場合は N = 8,170 人 (有効回収数) である。
2. 標本誤差の幅はN (比率算出の基数) と得られた結果の比率によって異なる。代表的な場合の誤差 (単純誤差のみ 2σ で計算) を示すと次のとおりである。

各回答の 比率 N	10% (または 90%)	20% (または 80%)	30% (または 70%)	40% (または 60%)	50%
8,000	± 0.7	± 0.9	± 1.0	± 1.1	± 1.1
4,000	± 0.9	± 1.3	± 1.4	± 1.5	± 1.6
2,000	± 1.3	± 1.8	± 2.0	± 2.2	± 2.2
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.9	± 3.1	± 3.2
500	± 2.7	± 3.6	± 4.1	± 4.4	± 4.5

なお、本調査のように二段抽出の場合は誤差が若干増加するのが普通であり、また標本誤差以外にも質問のかたよりや調査員のミスにもとづくものなど計算不能の誤差もある。

3. 質問の種類を示す記号は次のとおりである。

(S.Q.) : 前問で特定の回答をした一部の回答者に対して続けて行った質問 (Sub-Question の略)

(M.A.) : 1回答者が2以上の回答をすることができる質問 (Multiple Answer の略)。このとき回答数計 (M.T.) は回答者数 (100%) を超える。

〔回答票〕 : 質問の際回答を列記したカードを示して、その中から回答を選ばせる質問。

I 調査の概要

1. 調査の目的 国民のことばについての意識を主として漢字を中心に調査し、今後の施策の参考とする。
2. 調査項目 (1) 文字に対する関心
(2) 当用漢字及び人名用漢字
(3) 新漢字表試案の字種
(4) ことばづかい
3. 調査対象者 (1) 母集団 全国20歳以上の者
(2) 標本数 10,000人
(3) 抽出法 層化2段無作為抽出法
4. 調査時期 昭和52年8月22日～31日
5. 調査方法 調査員による面接聴取
6. 調査実施委託機関
社団法人 新情報センター
7. 回収結果 (1) 有効回収数 8,170人 (81.7%)
(2) 調査不能数 1,830人 (18.3%)

— 不能数内訳 —

転居	235	長期不在	248	一時不在	771
住所不明	132	拒否	369	その他 (病気など)	75

8. 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
男	20～24歳	386	244	63.2	女	20～24歳	466	375	80.5
	25～29歳	618	425	68.8		25～29歳	757	644	85.1
	30～34歳	614	458	74.6		30～34歳	664	606	91.8
	35～39歳	548	397	72.4		35～39歳	618	555	89.8
	40～44歳	592	449	75.8		40～44歳	592	526	88.9
	45～49歳	553	430	77.6		45～49歳	522	466	89.3
	50～54歳	434	341	78.6		50～54歳	435	380	87.4
	55～59歳	296	234	79.1		55～59歳	339	307	90.6
	60～69歳	485	427	88.0		60～69歳	526	461	87.6
	70歳以上	291	239	82.1		70歳以上	264	206	78.0
計	4,817	3,644	75.6	計	5,188	4,526	87.8		

Ⅱ 調査結果の概要

1. 文字に対する関心

(1) 文字に対する関心

「漢字やひらがな・カタカナなど、ふだん使っている文字について、どの程度関心をもっているか」については、「非常に関心をもっている」5%と、「かなり関心をもっている」25%を合わせた関心派は、30%にとどまり、「全く関心をもっていない」11%と、「あまり関心をもっていない」59%を合わせた無関心派が70%と多数である。

文字に対する関心は、性別にも、年齢別にも目立った差異はみられない。

文字に対する関心

	(該当者)	関心をもっている	非常に	かなり	関心をもっていない	あまり	全く	計
総数	(8,170人)	30%	5%	25%	70%	59%	11%	100%
[性]								
男	(3,644)	30	5	25	70	60	10	100
女	(4,526)	29	4	25	71	59	12	100
[年齢]								
20~29歳	(1,688)	29	4	25	71	64	7	100
30~39歳	(2,016)	33	5	28	67	60	7	100
40~49歳	(1,871)	32	5	27	68	59	9	100
50~59歳	(1,262)	31	6	25	69	58	11	100
60歳以上	(1,333)	30	5	25	70	60	10	100

(2) 漢字の書き替え，字体など

ア 当用漢字でない字か，当用漢字による書き替えか

たいふう（颱風・台風），にっしょく（日蝕・日食），しゃりょう（車輛・車両）については，ふだんどちらの漢字（当用漢字でない字か当用漢字による書き替えか）を書くことが多いかを調べた結果は，当用漢字による書き替え（台風，日食，車両）を挙げるものが，それぞれ 93%，77%，73%と多数である。

なお，「颱」「蝕」「輛」は当用漢字でないので，同音の当用漢字「台」「食」「両」で書き替えられ，「台風」，「日食」，「車両」のように公用文や新聞などで使われているものである。

ふだん書く漢字はどちらが多いか

（当用漢字でない字か，当用漢字による書き替えか）

・たいふう	颱 風	4%
	台 風	93
	（わからない）	3
・にっしょく	日 蝕	17%
	日 食	77
	（わからない）	6
・しゃりょう	車 輛	23%
	車 両	73
	（わからない）	4

イ 当用漢字について旧字体か新字体か

がっこう（學校・学校），こっか（國家・国家），おれい（お禮・お礼）についてふだんどちらの漢字（旧字体か新字体か）を書くことが多いかを調べた結果は，新字体（学校・国家・お礼）を挙げる者が90%以上と圧倒的に多い。

なお，「學」「國」「禮」はいわゆる旧字体であって，簡略な「学」，「国」「礼」が当用漢字の字体として定められており（これがいわゆる新字体である），「学校・国家・お礼」のように公用文や新聞などで使われているものである。

ふだん書く字はどちらが多いか

（当用漢字について旧字体か，新字体か）

・がっこう	學 校	4%
	学 校	93
	（わからない	3）
・こっか	國 家	7%
	国 家	90
	（わからない	3）
・おれい	お 禮	4%
	お 礼	93
	（わからない	3）

ウ 当用漢字の字体か略字体か

そつぎょう（卒業・卒業）、にちよう（日曜・日旺）、けんり（権利・权利）についてふだんどちらの漢字（当用漢字の字体か略字体か）を書くことが多いかを調べた結果は、当用漢字の字体（卒業、日曜、権利）を挙げる者がそれぞれ68%、76%、82%と多数である。

なお、「卒」、「曜」、「権」が当用漢字の字体として定められており、「卒業・日曜・権利」のように公用文や新聞などで使われているものである。「卒」「旺」「权」は主として筆写の際に簡略な形としてある程度使われているものである。

ふだん書く漢字はどちらが多いか

（当用漢字の字体か、略字体か）

・そつぎょう	卒業	68%
	卒業	28
	（わからない	4）
・にちよう	日曜	76%
	日旺	20
	（わからない	4）
・けんり	権利	82%
	权利	13
	（わからない	5）

エ 当用漢字でない字について、正字体か略字体か

ひのき(檜・桧), かご(籠・箒), かん(罎・缶)についてふだん
 どちらの漢字(正字体か略字体か)を書くことが多いかを調べた結果は
 次のとおり、略字体(桧, 缶)を挙げる者が55%, 85%と多数であ
 るが「かご」だけは正字体(籠)を挙げる者が多い。

なお、「檜」、「籠」、「罎」は当用漢字ではなく、新聞などでは主
 として正字体の「檜」、「籠」、「罎」が使われるが、簡略な「桧」、
 「箒」、「缶」が使われることもあり、殊に筆写のときには、この簡略
 な字体がかなり使われているものである。

ふだん書く字はどちらが多いか

(当用漢字でない字について、正字体か略字体か)

・ひのき	檜	36%
	桧	55
	(わからない)	9)
・かご	籠	52%
	箒	37
	(わからない)	11)
・かん	罎	10%
	缶	85
	(わからない)	5)

(3) 新聞で使われている漢字の難易

ふだん新聞を読む者について、「新聞で使われている漢字は、全体としてむずかしいと思うかやさしいと思うか」をみると、「むずかしいと思う」が12%と「やさしいと思う」の5%を上回ったものの、「特になんとも思わない」が81%と大多数で、新聞で使われている漢字の難易に対する認識は弱い。

「むずかしいと思う」は、性別では、男性の方が女性よりも少なく、学歴別では、高学歴ほど少ない。

新聞の漢字はむずかしいと思うか

(新聞を毎日または時々読む者)

	(該当者)	むずかしい と思う	特になんとも 思わない	やさしい と思う	わからない	計
総 数	(7444人)	12%	81%	5%	2%	100%
[性]						
男	(3479)	8	83	7	2	100
女	(3965)	15	78	4	3	100
[学 歴]						
小学校卒・不明	(506)	22	68	4	6	100
旧高小・新中卒	(2515)	15	78	4	3	100
旧中・新高卒	(3365)	9	84	5	2	100
旧高専大・新大卒	(1058)	5	84	10	1	100

2. 当用漢字及び人名漢字

(1) 当用漢字に対する関心

当用漢字に対する関心度について、「使ってもよい漢字の範囲を示す当用漢字表があることを知っているか」の調査の結果は、「知っている」が72%と大半を占め、「知らない」は28%と少ない。

年齢別にみると、「知っている」は高年齢層ほど少なく、特に60歳以上では、半数に達しない。

「当用漢字表」の周知度

	(該当者)	知っている	知らない	計
総 数	(8,170人)	72%	28%	100%
[年 齢]				
20~29歳	(1,688)	85	15	100
30~39歳	(2,016)	82	18	100
40~49歳	(1,871)	72	28	100
50~59歳	(1,262)	66	34	100
60歳以上	(1,333)	47	53	100

次に当用漢字表を知っていると答えた者について、「日常生活で文字を書く場合に、当用漢字を気にするほうか否か」をみると、「あまり気にしないほう」が77%と大多数で、「気にするほう」は21%と少ない。

年齢別には、目立った差異はみられない。文字に対する関心の別にもみると、関心の高い者ほど「気にするほう」が目立って多い。

文字を書くとき、当用漢字を気にするほうか

(当用漢字表を知っている者)

	(該当者)	気にする ほう	あまり気に しないほう	わからない	計
総 数	(5,900人)	21%	77%	2%	100%
[年 齢]					
20~29歳	(1,432)	20	79	1	100
30~39歳	(1,650)	22	76	2	100
40~49歳	(1,356)	22	76	2	100
50~59歳	(829)	21	77	2	100
60歳以上	(633)	16	79	5	100
[文字に対する関心]					
非常に関心をもっている	(339)	52	47	1	100
かなり関心をもっている	(1,770)	32	67	1	100
あまり関心をもっていない	(3,397)	13	85	2	100
全く関心をもっていない	(394)	10	82	8	100

(2) 「当用漢字」に対する評価

「ことばを表す漢字の一部が当用漢字でないために、洗たく、消火せ、けい光燈、き裂、は握などのように、漢字とひらがなのまざった書き方をすると読みにくいと思うか」については、「読みにくいとは思わない」が62%と多く、「読みにくいと思う」は29%と少ない。

「読みにくいと思う」は、学歴別では高学歴ほど多く、文字に対する関心の別では、関心の高い者ほど多い。

漢字とひらがなのまざった単語は読みにくいと思うか

	(該当者)	読みにく いと思う	読みにくい とは思わない	わからない	計
総 数	(8,170人)	29%	62%	9%	100%
{ 年 齢 }					
20~29歳	(1,688)	32	61	7	100
30~39歳	(2,016)	30	64	6	100
40~49歳	(1,871)	28	65	7	100
50~59歳	(1,262)	29	62	9	100
60歳以上	(1,333)	24	57	19	100
{ 学 歴 }					
小学校卒・不明	(753)	16	60	24	100
旧高小・新中卒	(2,862)	22	67	11	100
旧中・新高卒	(3,478)	33	61	6	100
旧高専大・新大卒	(1,077)	41	54	5	100
{ 文字に対する関心 }					
非常に関心をもっている	(376)	42	54	4	100
かなり関心をもっている	(2,065)	36	59	5	100
あまり関心をもっていない	(4,834)	27	65	8	100
全く関心をもっていない	(895)	19	54	27	100

次に「当用漢字表にない漢字は使わないほうがよいと思うか」については、「そうは思わない」が47%と、「使わないほうがよい」の33%を上回るが、「わからない」も20%と少なくない。「そうは思わない(使ってもよい)」は、学歴別では高学歴ほど多く、また、文字に対する関心の別では関心の高い者ほど多い。

当用漢字以外の漢字は使わないほうがよいと思うか

	(該当者)	使わないほうがよい	そうは思わない(使ってもよい)	わからない	計
総数	(8,170人)	33%	47%	20%	100%
[年 齢]					
20~29歳	(1,688)	36	53	11	1000
30~39歳	(2,016)	39	47	14	1000
40~49歳	(1,871)	34	47	19	1000
50~59歳	(1,262)	30	47	23	1000
60歳以上	(1,333)	24	39	37	100
[学 歴]					
小学校卒・不明	(753)	24	29	47	100
旧高小・新中卒	(2,862)	37	38	25	100
旧中・新高卒	(3,478)	35	52	13	100
旧高専大・新大卒	(1,077)	27	65	8	100
[文字に対する関心]					
非常に関心をもっている	(376)	33	60	7	100
かなり関心をもっている	(2,065)	36	53	11	100
あまり関心をもっていない	(4,834)	34	47	19	100
全く関心をもっていない	(895)	26	28	46	100

さらに、「当用漢字以外の漢字を使ってはいけないことにしたために、文章を書き表すのに不自由になったと思うことがあるか」については、「ほとんどない」と不自由を感じない者が61%と多く、不自由を感じる者は26%（「たびたびある」5%、「たまにはある」21%）と少ない。不自由を感じる者は、年齢別では、40、50歳代の中高年齢層に、学歴別では、高学歴者に、文字に対する関心の別では、関心の高い者にそれぞれ多い。

当用漢字のために、文章表現が不自由になったと思うことがあるか

	(該当者)	ある			ほとんどない	わからない	計
			たびたび	たまに			
総数	(8,170人)	26%	5%	21%	61%	13%	100%
[年 齢]							
20～29歳	(1,688)	22	3	19	70	8	100
30～39歳	(2,016)	24	4	20	67	9	100
40～49歳	(1,871)	29	5	24	59	12	100
50～59歳	(1,262)	30	7	23	55	15	100
60歳以上	(1,333)	22	5	17	50	28	100
[学 歴]							
小学校卒・不明	(753)	16	3	13	47	37	100
旧高小・新中卒	(2,862)	23	4	19	61	16	100
旧中・新高卒	(3,478)	27	5	22	65	8	100
旧高専大・新大卒	(1,077)	35	8	27	60	5	100
[文字に対する関心]							
非常に関心をもっている	(376)	48	16	32	50	2	100
かなり関心をもっている	(2,065)	35	7	28	59	6	100
あまり関心をもっていない	(4,834)	22	4	18	65	13	100
全く関心をもっていない	(895)	13	3	10	53	34	100

(3) 人名用漢字

「赤ちゃんの名前をつける場合、使える漢字が限られていることを知っているか」については、「知っている」は69%と多数で、「知らない」は31%と少ない。

「知っている」は年齢別にみると、30歳代にもっとも多く、それより若年または高年になるほど少なくなっている。また、小・中学生の子供の有無別にみると、子供のいる者のほうがわずかに多い。

名づけに使える漢字が限られていることを知っているか

	(該当者)	知っている	知らない	計
総数	(8,170人)	69%	31%	100%
[年齢]				
20～24歳	(619)	60	40	100
25～29歳	(1,069)	73	27	100
30～39歳	(2,016)	77	23	100
40～49歳	(1,871)	75	25	100
50～59歳	(1,262)	70	30	100
60歳以上	(1,333)	51	49	100
[小・中学生の子供の有無]				
いる	(3,001)	73	27	100
いない	(5,169)	67	33	100

また、「赤ちゃんの名前には、むずかしい漢字や珍しい漢字を使わないほうがよいと思うか」については、「使わないほうがよい」が57%と過半数で、「使ってよい」の18%を上回っているが、「一概にいえない」も19%と少なくない。

年齢別にみると、「使ってよい」は、若年齢層ほど多く、また、小・中学生の子供の有無別にみると、「使わないほうがよい」は、子供のいる者のほうに多い。

赤ちゃんの名前には、むずかしい漢字や
珍しい漢字を使わないほうがよいと思うか

	(該当者)	使わない ほうがよい	使ってよい	一概に いえない	わからない	計
総数	(8,170人)	57%	18%	19%	6%	100%
[年 齢]						
20~24歳	(619)	36	36	21	7	100
25~29歳	(1,069)	48	25	23	4	100
30~39歳	(2,016)	59	18	20	3	100
40~49歳	(1,871)	60	16	20	4	100
50~59歳	(1,262)	63	15	17	5	100
60歳以上	(1,333)	58	12	15	15	100
[小・中学生の 子供の有無]						
い る	(3,001)	61	16	19	4	100
い な い	(5,169)	54	20	19	7	100

さらに、「赤ちゃんの名前に使ってもよい漢字の範囲が狭くて、不便だ
 と思うか」については、「そうは思わない」が61%と多く、「そう思う
 (不便だと思う)」は18%と少ないが、「わからない」も21%と少な
 くない。

「そうは思わない」というものを年齢別にみると、30歳代、40歳代
 に、また、小・中学生の子供の有無では子供のいる者のほうに多い。

名づけに使える漢字の範囲は狭くて不便だと思うか

	(該当者)	そう思う	そうは 思わない	わからない	計
総 数	(8,170人)	18%	61%	21%	100%
[年 齢]					
20～24歳	(619)	20	43	37	100
25～29歳	(1,069)	19	58	23	100
30～39歳	(2,016)	20	67	13	100
40～49歳	(1,871)	17	67	16	100
50～59歳	(1,267)	18	62	20	100
60歳以上	(1,333)	16	50	34	100
[小・中学生の子供の有無]					
い る	(3,001)	18	67	15	100
い な い	(5,169)	18	57	25	100

3. 新漢字表試案の字種

(1) 採用予定の漢字の是非

国語審議会が、現行の「当用漢字表」を検討した結果、昭和52年1月に文部大臣あて報告した「新漢字表試案」では、新しい漢字表に現在当用漢字ではない83個の漢字を新たに採用し、現在当用漢字である33個の漢字を削除することとしている。

そこで、新漢字表に新たに採用しようとする83個の漢字を示して、「これらの漢字のうち、その採用に異議のある漢字があるか否か」をきいたところ、「ない(異議なし)」が42%と、「ある(異議あり)」の32%を上回った結果となったが、「わからない」も26%と少なくない。

「異議あり」は、年齢別には、若年齢層ほど、学歴別には、高学歴者ほど目立って多い。

83字のうち、新漢字表への採用に異議のある漢字があるか

	(該当者)	ある (異議あり)	ない (異議なし)	わからない	計
総数	(8,170人)	32%	42%	26%	100%
[年齢]					
20～29歳	(1,688)	44	38	18	100
30～39歳	(2,016)	38	41	21	100
40～49歳	(1,871)	30	45	25	100
50～59歳	(1,262)	24	47	29	100
60歳以上	(1,333)	17	39	44	100
[学歴]					
小学校卒・不明	(753)	14	32	54	100
旧高小・新中卒	(2,862)	27	40	33	100
旧中・新高卒	(3,478)	36	44	20	100
旧高専大・新大卒	(1,077)	45	45	10	100

次に83字のうち、新漢字表への採用に異議のある漢字を、異議の多い順にあげると、「褒」19%、「癒」15%、「覇」10%、「凹」「遮」「凸」、各7%、「藻」「霧」各5%などとなっている。(複数回答)

新漢字表への採用に異議のある漢字(異議の多い漢字)

(複数回答)

• 褒	19%	• 挿	4%
• 癒	15	• 頻	4
• 覇	10	• 逝	3
• 凹	7	• 挾	3
• 遮	7	• 瓶	2
• 凸	7	• 襟	2
• 藻	5	• 殼	2
• 霧	5	• 妄	2
• 褐	4	• 瀉	2
• 羅	4	• 朴	2
			(以下略)

(2) 削除予定の漢字の是非

新漢字表試案で削除しようとする33個の漢字を示して、「これらの漢字のうち、その削除に異議のある漢字があるか否か」をみると、「ある（異議あり）」が55%と過半数で、「ない（異議なし）」の20%を大きく上回っているが、「わからない」も25%と少なくない。

新漢字表については、漢字の追加には賛成、削除には反対という傾向がうかがわれる。

「異議あり」は、年齢別には、若年齢層ほど多く、学歴別には、高学歴ほど目立って多い。

この傾向は、採用予定の漢字の場合と同様である。

33字のうち、新漢字表からの削除に異議のある漢字があるか

	(該当者)	あ る (異議あり)	な い (異議なし)	わからない	計
総 数	(8,170人)	55%	20%	25%	100%
[年 齢]					
20～29歳	(1,688)	63	19	18	100
30～39歳	(2,016)	60	19	21	100
40～49歳	(1,871)	55	22	23	100
50～59歳	(1,262)	52	20	28	100
60歳以上	(1,333)	42	16	42	100
[学 歴]					
小学校卒・不明	(753)	32	17	51	100
旧高小・新中卒	(2,862)	46	22	32	100
旧中・新高卒	(3,478)	61	20	19	100
旧高専大・新大卒	(1,077)	76	14	10	100

33字のうち、削除に異議のある漢字を、異議の多い順にあげると、
 「芋」40%、「畔」31%、「奴」「但」各29%。「婆」27%、
 「侯」、「薪」「且」各21%、「翁」20%などとなっている。

33字中、5%未満の異議にとどまる漢字は皆無であり、83字中、5%未満の漢字が大部分(75字)である採用予定の漢字に対する場合と対照的である。(複数回答)

新漢字表に採用しないことに異議のある漢字(異議の多い漢字)
 (複数回答)

• 芋	40%
• 畔	31
• 奴	29
• 但	29
• 婆	27
• 侯	21
• 薪	21
• 且	21
• 翁	20
• 痘	18
• 殿	18
• 匄	17
• 勺	17
• 堪	17
(以下略)	

国語に関する世論調査

昭和52年8月

Q1 あなたは、ふだん新聞を毎日読みますか、時々読む程度ですか、それとも、ほとんど読みませんか。

(741)	(170)	(89)
毎日読む	時々読む	ほとんど(全く)読まない
↓		↳(Q2へ)

SQ あなたは、日ごろ新聞をごらんになっていて、そこで使われている漢字は、全体として、むずかしいと思いますか、やさしいと思いますか、それとも、特になんとも思いませんか。

(N=7444)

(116)	(805)	(54)	(25)
むずかしいと思う	特になんとも思わない	やさしいと思う	わからない

Q2 週刊誌や月刊誌などの雑誌はよく読みますか、時々読む程度ですか、それとも、ほとんど読みませんか。

(162)	(394)	(443)
よく読む	時々読む	ほとんど(全く)読まない

Q3 あなたは、ふだん手紙をよく書くほうですか、時々書くほうですか、それとも、手紙はほとんど書きませんか。

(67)	(261)	(672)
よく書くほう	時々書くほう	ほとんど(全く)書かない

Q4 [回答票1] あなたは、漢字やひらがな・かたかななど、ふだん使っている文字について、どの程度の関心をお持ちですか。この中ではどうでしょうか。

(46)	(253)	(592)	(110)
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
非常に関心を持っている	かなり関心を持っている	あまり関心を持っていない	全く関心を持っていない

Q 5. [回答票 2] あなたは、ふだん文字を書く時、ここにあるような漢字について、どちらを書くことが多いですか。

まず、1)「たいふう」についてはどうでしょうか。……次に2)「がっこう」についてはどうでしょうか。(以下順に1つずつ聞く)

1) たいふう	(88)(7)	颶風	(981)(1)	台風	(80)わからない
2) がっこう	(44)(7)	學校	(980)(1)	学校	(25)わからない
3) にっしょく	(166)(7)	日蝕	(772)(1)	日食	(62)わからない
4) こっか	(69)(7)	國家	(902)(1)	国家	(28)わからない
5) しゃりょう	(229)(7)	車輛	(726)(1)	車両	(45)わからない
6) おれい	(44)(7)	お禮	(926)(1)	お礼	(80)わからない

Q 6 [回答票 3] では、このような文字の場合はどうでしょうか。まず1)「そつぎょう」については、どちらを書くことが多いでしょうか。2)「ひのき」はどうでしょうか。(以下順に1つずつ聞く)

1) そつぎょう	(686)(7)	卒業	(277)(1)	卒業	(87)わからない
2) ひのき	(355)(7)	檜	(553)(1)	桧	(92)わからない
3) にちよう	(756)(7)	日曜	(205)(1)	日旺	(39)わからない
4) かご	(524)(7)	籠	(367)(1)	籠	(109)わからない
5) けんり	(824)(7)	権利	(133)(1)	权利	(44)わからない
6) かん	(99)(7)	罐	(854)(1)	缶	(48)わからない

Q 7 ところで、あなたは、漢字の使える範囲を示した「当用漢字表」というものがあることをご存じですか。

(722)	(278)
<u>知っている</u>	<u>知らない</u>
↓	↳(Q 8へ)

S Q あなたは、日常生活で文字を書く場合に、当用漢字を気にするほうですか、それとも、あまり気にしないほうですか。(N=5,900)

(204)	(774)	(22)
気にするほう	あまり気にしないほう	わからない

Q 8 〔調査員注意〕 (Q 7で当用漢字表を「知らない」ものには「現在、土地の名前や人の名前など特別の場合を除き、新聞・雑誌やふだんの生活で使う漢字の範囲として、当用漢字が決められ、その漢字の一覧表を当用漢字表といいます。」と読みあげて質問をする。)

〔カード〕 ここにあげてあることは、ひらがなの部分の字が当用漢字でないために、新聞等で漢字とひらがなのまざった書き方が行われています。あなたは、このような書き方が読みにくいと思いますか、それとも別に読みにくいとは思いませんか。

(289)

読みにくいと思う

(619)

読みにくいとは思わない

(92)

わからない

〔洗たく、消火せん、けい光燈、き裂、は握〕

Q 9 あなたは、当用漢字表にない漢字は使わないほうがよいと思いますか、そうは思いませんか。

(335)

使わないほうがよい

(469)

そうは思わない

(135)

わからない

Q 10 では、当用漢字をやめて、どんな漢字でも無制限に使えることにすれば、新聞・雑誌などにむずかしい漢字が出て来て、わかりにくいものになると思いますか、そうは思いませんか。

(600)

そう思う

(247)

そうは思わない

(153)

わからない

Q 11 それでは、当用漢字以外の漢字を使ってはいけないことにしたために、あなたは、文章を書き表すのに不自由になったと思うことが、たびたびありますか、たまにはありますか、それとも、ほとんどありませんか。

(49)

たびたびある

(205)

たまにはある

(618)

ほとんどない

(133)

わからない

Q 12 〔回答票 4〕 ここにある 83 個の漢字は、当用漢字ではありませんが、よく用いられる漢字やかな書きにするとわかりにくい漢字などです。これらの漢字は新しい漢字表の案(新漢字表試案)に取り入れようとしているものですが、この中で、あなたが、新しい漢字表から除いたほうがよいと思われるものがありますか。

(318)

あ る

↓

(SQへ)

(418)

な い

(264)

わからない

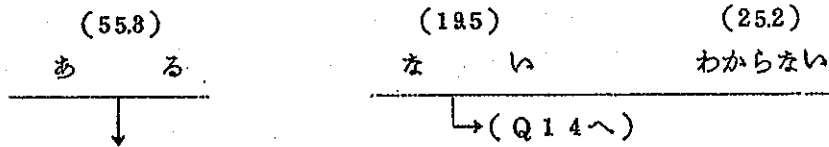
↳(Q13へ)

SQ 【回答票4】 それは、どの漢字でしょうか。(M.A.)

(06)	(73)	(05)	(08)	(05)	(05)	(08)	(20)	(18)	(44)
猿	凹	渦	靴	稼	涯	垣	殻	瀉	褐
(08)	(08)	(26)	(22)	(02)	(14)	(07)	(06)	(05)	(04)
缶	頑	挟	襟	隅	溪	蚩	嫌	洪	溝
(02)	(02)	(08)	(02)	(06)	(67)	(08)	(07)	(02)	(10)
昆	崎	皿	傘	肢	遮	蛇	酌	汁	塾
(04)	(08)	(11)	(04)	(09)	(06)	(08)	(04)	(30)	(08)
尚	宵	繩	唇	甚	据	杉	芥	逝	仙
(04)	(36)	(13)	(47)	(04)	(14)	(08)	(04)	(02)	(08)
栓	挿	槽	藻	駄	濯	挑	眺	塚	漬
(08)	(04)	(02)	(08)	(08)	(66)	(08)	(05)	(98)	(11)
釣	亭	泥	棟	洞	凸	猫	把	霸	漠
(02)	(04)	(06)	(05)	(36)	(24)	(46)	(11)	(05)	(07)
肌	鉢	披	扉	頻	瓶	冪	塀	泡	俸
(189)	(16)	(08)	(02)	(06)	(02)	(19)	(06)	(153)	(12)
褒	朴	僕	堀	磨	岬	妄	厄	癒	悠
(37)	(08)	(04)	(13)						
羅	竜	戻	わからない						

(M.T.=140.9)

Q1a 【回答票5】 また、ここにある33個の漢字は、当用漢字ですが、一般に使われることが非常に少なくなったなどの理由で、新しい漢字表の案〔新漢字表試案〕では、取り除こうとしている漢字です。この中であなたが、新しい漢字表に残しておいたほうがよいと思う漢字が何かありますか。



(SQ~)

SQ 【回答票5】 それは、どの漢字ですか。(M.A.)

(403) (78) (181) (200) (51) (188) (69) (209) (166) (112)
芋 調 殿 翁 虞 勃 嚇 且 堪 蔞
(214) (94) (172) (101) (89) (211) (97) (74) (184) (87)
俣 嗣 勺 爵 遊 薪 帥 鍾 畝 銑
(286) (114) (77) (67) (83) (293) (184) (270) (122) (307)
但 嫡 脹 朕 逦 奴 痘 婆 陪 畔
(174) (102) (186) (13)
匆 濫 隸 わからない

(M.T.=5108)

Q14 次に、あなたは、赤ちゃんの名前をつける場合、使える漢字が限られていることをご存じですか。

(693) (307)
知っている 知らない

Q15 あなたは、赤ちゃんの名前には、むずかしい漢字や珍しい漢字を使わないほうがよいと思いますか、それとも、どんな漢字でも使ってよいと思いますか。

(568) (181) (190) (61)
使わないほうがよい 使ってよい 一概にいえない わからない

Q16 あなたは、赤ちゃんの名前に使ってもよい漢字(当用漢字及び人名用漢字)の範囲が狭くて、不便だと思いますか、それとも、そうは思いませんか。

(182) (605) (213)
そう思う そうは思わない わからない

Q17 ところで、最近、いろいろな人のことばづかいが乱れてきているという意見がありますが、あなたは、そう思いますか、そんなことはないと思いますか。

(692) (219) (89)
そう思う そんなことはないと思う わからない